

教育広報

いるま

第50号
平成21年6月

題字：教育長 村野 志 朗
編集：教育広報いるま編集委員会
発行：入間市教育委員会学校教育課
電話 04-2964-1111(内 4145)



入間市教育委員会

委員長 河村 佳樹

教育広報「いるま」が創刊五十号を迎え、一つの節目を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

「継続は力なり」と申しますが、一つのことを継続していくことは大変な労力が必要であり、刊行に携わった多くの関係方々に心より感謝申し上げます。五十号に至るまでの広報紙を拝見させて頂きましたが、毎回内容も工夫され、表紙写真に掲載された子どもたちの豊かな表情、子どもたちのためにと研修に励む先生方、学校の姿が多く目につきました。

学習指導要領の改訂に伴い、新しい教育課程が実施され、教育現場も大きな変化を迎えています。各学校が地域に根ざした特色ある教育活動を展開するとともに教育広報「いるま」が今後とも末永く発行されることを願っております。



入間市教育委員会
教育長 村野 志朗

教育広報「いるま」が創刊五十号を迎えましたこと喜ばしい限りです。関係の方々をはじめ、皆様のご協力に支えられて、苦労に深く敬意と感謝を表す次第です。また、読者各位のご指導とご支援に対して、厚くお礼申し上げます。

教育広報「いるま」は創刊以来、入間市教育行政の方針や施策、新しい教育情報、市内幼小中学校の現状や今日的課題、子どもたちの活動・活躍状況を掲載してまいりました。今後も創刊五十号を契機に、さらなる内容の充実を図り、入間の子どもたちに「豊かな人間性」育む諸施策・教育活動を紹介して魅力あふれる紙面づくりをしていきたいと考えています。これからも皆様のご理解、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

広報誌五十号のあゆみ

教育広報「いるま」が発刊されてから十八年がたちました。平成三年の十一月に創刊号が出て、今回で五十号となります。

創刊当時の担当指導主事であった現西武小学校校長の小島明先生に創刊当時のお話を聞きました。

創刊当時は、まだ編集委員がおらず、企画、取材、校正等、すべてを一人でおこなったそうです。現在、指導主事を含め十名の編集委員で作成していることから考えますとその労力は計り知れません。翌年より編集委員による作成が行われるようになりました。

創刊当時の紙面はB5版で、A4版への変更が十二号から行われました。表紙の写真は当時二色刷の広報誌が多い中、創刊号からカラーを取り入れたそうです。時代の流れから四十四号より白黒となり、現在は二色刷と一色刷で年二回発行となりました。

平成三年発行の創刊号の内容には、創刊当時の入間市教育長の今泉久夫先生、教育委員長の宮寺静夫先生、学校教育課長の小高節男先生のご挨拶、各小中学校の紹介、教育相談室だより、



最終ページには「ぐっどにゆうす」として市内各校の学校自慢が掲載されていました。

その後、内容については、その都度、編集委員で見直しが行われ、入間市教育行政の基本的な考えと施策、市内幼小中学校の教育実践の現状、子どもたちの活躍等を広く市民の皆様にお知らせしてきました。

多くの方のご尽力により、今回五十号の発行を迎えることができました。ご多忙の中、原稿をくださった多くの皆様のご協力に感謝申し上げます。今後とも内容のさらなる充実を図り、多くの皆様方に親しまれる広報作りに努力していきます。



入間市博物館館長

黒澤 一雄

昨年六月より教育長が兼務していた入間市博物館（アリット）の館長に四月二日付で黒澤一雄氏が就任しました。

黒澤氏は、現在、宮城県仙台市に在住し、昭和四十年に東京大学文学部を卒業後、産経新聞社、宮城テレビ放送、現在、非常勤として宮城テレビ放送の顧問として勤務しています。

また、平成十八年より東北大学大学院情報科学研究科運営協議委員、その他にも宮城県ミニバスケットボール連盟の副会長等を歴任しています。



号 発行年月 主な内容

- 創刊 H 3.11 市内幼稚園、小・中学校の紹介
- 2 H 4. 3 月一回の学校週5日制開始にあたって
- 3 H 4. 7 学校週5日制についての質問と答え
- 4 H 4.11 学校週5日制と生涯学習
- 5 H 5. 3 新設された生活科の学習内容の紹介
- 6 H 5. 7 新しい学力観についての質問と答え
- 7 H 5.11 中学校進路指導についての質問と答え
- 8 H 6. 3 環境教育について
- 9 H 6. 7 これからの生涯学習について



- 10 H 6.11 国際理解教育について
- 11 H 7. 3 読書と図書館利用
- 12 H 7. 7 道徳教育をとおしての豊かな心の育成
- 13 H 7.11 狭山茶とふれあう時間を学校教育に
- 14 H 8. 3 小・中学校の体力・運動能力の現状
- 15 H 8. 7 豊かな心のかよいあう生徒指導
- 16 H 8.11 人間としての生き方の進路指導
- 17 H 9. 3 標準学力検査についての質問と答え
- 18 H 9. 7 学校給食センターの紹介
- 19 H 9.11 環境を守るゴミの分別収集

- 20 H10. 3 学校における福祉教育
- 21 H10. 7 共に考えよう「心の教育」1
- 22 H10.11 共に考えよう「心の教育」2
- 23 H11. 3 共に考えよう「子どもたちの安全」
- 24 H11. 7 地域の人材活用を生かす教育
- 25 H11.11 子育ての基本は親の姿 その1
- 26 H12. 3 子育ての基本は親の姿 その2
- 27 H12. 7 総合的な学習の時間の新設
- 28 H12.11 総合的な学習の時間の取り組み 1
- 29 H13. 3 総合的な学習の時間の取り組み 2



- 30 H13. 7 創刊30号記念号
- 31 H13.11 総合的な学習の時間の取り組み 3
- 32 H14. 3 総合的な学習の時間の取り組み 4
- 33 H14. 7 入間市の学校図書館の現状
- 34 H14.11 国際理解教育の推進・中学生社会体験チャレンジ
- 35 H15. 3 道徳教育の充実に向けて・中学生社会体験チャレンジ
- 36 H15. 7 元気な入間っ子を育てる地域支援事業
- 37 H15.11 八都県市合同防災訓練・博学連携事業
- 38 H16. 3 入間市青少年活動センターについて
- 39 H16. 7 特色ある教育活動の展開・安全安心な学校づくり

- 40 H16.11 彩の国・教育の日
- 41 H17. 3 確かな学力を育む少人数指導
- 42 H17. 7 これからの特別支援教育について
- 43 H18. 3 教育に関する3つの達成目標への取り組みについて
- 44 H18.10 茶の都いるま～お茶とふれあう
- 45 H19. 3 通学合宿～元気な入間っ子を育てる
- 46 H19.10 学校での食育の推進
- 47 H20. 3 確かな学力の向上を目指して
- 48 H20. 7 入間市の教育行政について
- 49 H21. 3 確かな学力・地域に根ざした教育活動
- 50 H21. 5 創刊50号記念号



中学校マップ

平成21年5月1日現在

私たちの
住んでいる入間市が
よ〜くわかるね！



- 18 豊岡中学校 (生徒数 476 名)
向陽台 2-1-20
- 19 黒須中学校 (生徒数 334 名)
鍵山 3-13-17
- 20 東町中学校 (生徒数 295 名)
向陽台 2-1-22
- 21 向原中学校 (生徒数 579 名)
久保稻荷 3-34-1
- 22 東金子中学校 (生徒数 382 名)
小谷田 451-1
- 23 金子中学校 (生徒数 336 名)
西三ツ木 187
- 24 武蔵中学校 (生徒数 325 名)
宮寺 3193
- 25 藤沢中学校 (生徒数 601 名)
下藤沢 1263-1
- 26 上藤沢中学校 (生徒数 364 名)
上藤沢 146-2
- 27 西武中学校 (生徒数 245 名)
仏子 960-1
- 28 野田中学校 (生徒数 372 名)
野田 1741

入間市立幼小

- ① あずま幼稚園 (園児数 98 名)
小谷田 1433-1

- ② 豊岡小学校 (児童数 619 名)
向陽台 1-1-14
- ③ 黒須小学校 (児童数 483 名)
春日町 2-14-60
- ④ 扇小学校 (児童数 886 名)
久保稻荷 4-1195-2
- ⑤ 東町小学校 (児童数 545 名)
向陽台 2-1009-3
- ⑥ 高倉小学校 (児童数 391 名)
高倉 4-14-7
- ⑦ 東金子小学校 (児童数 398 名)
小谷田 1524
- ⑧ 新久小学校 (児童数 307 名)
新久 500
- ⑨ 金子小学校 (児童数 601 名)
西三ツ木 150
- ⑩ 宮寺小学校 (児童数 277 名)
宮寺 594-1
- ⑪ 狭山小学校 (児童数 426 名)
二本木 65-1
- ⑫ 藤沢小学校 (児童数 671 名)
上藤沢 354

- ⑬ 藤沢東小学校 (児童数 658 名)
東藤沢 7-9-1
- ⑭ 藤沢南小学校 (児童数 426 名)
上藤沢 52
- ⑮ 藤沢北小学校 (児童数 612 名)
東町 7-1-19
- ⑯ 西武小学校 (児童数 759 名)
野田 512
- ⑰ 仏子小学校 (児童数 396 名)
仏子 165



番号表記					
00	幼稚園	00	小学校	00	中学校

※このマップは、藤沢東小学校の中村英雄先生にご協力いただきました。

入間市の教育



入間市の
将来
都市像

香り豊かな緑の文化都市

生涯学習
による
まちづくり

ひとりひとりの学びが
21世紀の人間を元気にする

(人が導き、人が教え、人を育てる)

入間市
教育委員会
基本理念

豊かな人間性の育成

人間を
愛する心

学ぶ
喜び

思いやり
の心

健やかな
体



学校教育



社会教育

地域に根ざした
教育行政の推進

学 校
(学ぶ力)

家 庭
(働く力)

地 域
(遊ぶ力)

公 民 館

体育施設

博物館

図書館

青少年施設

思いやりの心 → 人と人とのかかわり(人間浴)の中で育つ

※人間浴…森林浴にならってつくった造語

平成21年度 入間市教育委員会 基本目標・重点施策

地域に根ざした特色ある学校教育を推進します

地域に根ざした特色ある教育の推進

- 狭山茶とふれあう教育の推進
- 地域人材、地域教材の学校教育への導入
- 地場産の食材の学校給食への使用



豊かな心と体力を育む教育の推進

- 体験活動を生かした学習指導の推進
- 道徳性を育む道徳教育の充実
- 体育授業、体育的活動の充実

幼児教育の充実を図ります



「子ども未来室」の開設準備を始めます

- 小学校への円滑な接続の推進
- 就学相談の充実
- 遊び・学びの手引き書の作成
- 親の学習の実施

教員の資質の向上を図ります

教職員の資質の向上及び指導力の向上

- スクールリーダー、ミドルリーダーの育成
- 研修をとおした計画的育成
- 学校訪問による教員への直接指導の充実
- 学校研究等による教員の指導力の向上

生徒指導、教育相談の充実

- 不登校、いじめゼロを目指す取組の充実
- 適応指導教室(ひばり学級)の充実
- 生徒指導カウンセラーによる学校訪問の充実
- さわやか相談員・臨床心理士による相談活動の充実

基礎・基本を徹底し、確かな学力の定着を目指します

基礎・基本の徹底と確かな学力の定着

- 教育支援担当等の学校訪問の充実
- 教科指導員の配置と少人数指導の推進及び授業改善の推進
- 幼稚園の教育内容の充実



信頼される学校づくりの推進

- 目標を明確にした学校(園)経営の推進
- 学校の自己評価、外部評価の充実
- 安全で安心できる学校(園)づくりの推進
- 校長会議、教頭会議の充実

安心・安全な学校給食の充実を図ります

体育・健康教育の充実

- 体力と運動技能を高める授業の推進

安全でおいしい給食の提供

- 季節の味や日本の伝統の味を大切にした手作り給食の推進
- 地場産の食材を使った給食づくり



小中学校施設の耐震化の促進とバリアフリー化の推進を図ります

学校施設の維持管理及び整備、充実

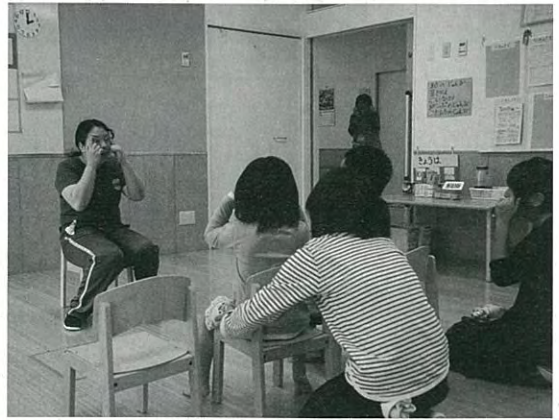
- 小中学校校舎の計画的な耐震化の促進
- 学校施設のバリアフリー化の推進

子ども未来室の構想

小学校に入学したばかりの1年生が集団行動がとれない、授業中に座ってられない、話を聞かないなどの状態が数ヶ月継続する状態、いわゆる「小1プロブレム」が学校課題として注目されています。また、県の調査によりますと中学1年生での不登校の発生率が一番高くなっています。

このような実態から入間市教育委員会では、「子ども未来室」設置の検討に取りかかりました。目的は、乳幼児から中学生までの子どもが育ちの場及び学びの場において、その環境に適切に順応できるように総合的に支援するためです。

「子ども未来室」の設置により、豊かな人間性に創造力をもったこどもの育成を図っていこうと考えました。本年度から準備・着手し、22年度から各段階で実施をしていきます。



子ども未来室検討委員会

ワーキンググループ

小学校就学前後の共通学習プログラムを作ります

- ・小学校就学 4ヶ月前～入学後 2ヶ月の共通「学習プログラム」(手引き)を作成し、幼児教育から義務教育へのスムーズな移行をサポートします。

「親の学習」の充実を図ります

- ・親の学習講座を3～5歳児の各段階で開設していきます。また、各小学校の入学説明会で5歳児の「親の学習」を開設していきます。

障害をもった子どもへの支援の充実を図ります

- ・子育て記録シートを作成して個々の子どもに対応していきます。また就学前の子どもが幼稚園・保育園(所)に在籍しながら通える通級指導教室を開設します。
- ・体が不自由な子のために小中連携学区を設置します。

その他

- ・学童保育室の見直し
- ・小学校入学後の「通級指導教室」を設置します。

